

第1回 栗東市健康づくり推進協議会

平成29年8月2日（水）14:00～

栗東市総合福祉保健センター 研修室

1 あいさつ

会 長

委員交代報告

2 協議事項

(1) 平成29年度 中間評価スケジュールについて

会 長：事務局から説明をお願いします。

<事務局説明>

- ・資料1 平成29年度 「第2次健康りっとう21」中間評価スケジュール

(2) 各関係機関の取り組みについて

<事務局説明>

- ・資料 『資料2』各関係機関の取り組み

会 長：皆様の所属機関における、成果・課題から今年度の計画で改善したこと、新たな取り組み、他の機関と連携した取り組みなど、2分程度をお願いします。

医師会は、草津栗東市民フォーラムとを、草津市、栗東市、医師会共同で行います。

これは、ロコモティブシンドロームとって、だんだん筋力が弱ってきて寝たきりになるような状況を何とかできないか、という市民フォーラムです。歯科医師会、栄養士会、薬剤師会、理学療法士会、看護協会等に協賛いただき、開催を予定しています。そのほか、健診を通して、メタボリックシンドロームを少しでも減らすことと、胃がん対策などのため精密検査を受けるように勧めるということを通じて、貢献していきたいと思います。

委 員：歯科医師会として、かむカムフェスタ、歯ートフル淡海では、各団体のブースでの啓発活動により盛り上がることができました。歯科相談コーナーでは、子どもの歯並びに関する質問が多く感じられました。課題としては、地域住民の方々が歯の健康意識を理解してもらったが、その後の追跡評価が予測できないことです。済生会病院への派遣事業では、口腔ケアにより入院患者の口腔内トラブル（口腔内乾燥、口内炎など）の減少、誤嚥性肺炎の予防に効果がありました。

委 員：滋賀県薬剤師会として、この6月から始めた取り組みがあります。市民の健康をサポートするために、月ごとにテーマを決め、健康情報を薬局で普及しています。月

ごとにテーマに沿ったリーフレットを作り、関係が深い方などは説明しながら配布しています。7月は、糖尿病と歯周病の関連をテーマに取り上げ、歯科医師会と連携し、糖尿病の方は歯周病になりやすいことを啓発し、受診が必要だと思えば、歯科医師会の病院に受診していただきました。8月は、特定健診やがん検診など受診ができていない人への啓発を実施します。1年間継続して取り組み、薬局で薬を渡すだけでなく、健康情報を普及する活動をしていることを知ってもらえたらと思います。

委員：健康推進員連絡協議会では、今年度は、県において生活習慣病予防のため減塩を、若者世代と高齢者世代に取り組んでいきます。栗東市では高齢者のほうで取り組み、調理実習が多めになりますが、減塩と野菜摂取をメインに取り組んでいきます。また、孤食の改善にも取り組みます。

委員：学校教育課です。「ふだんの生活習慣アンケート調査」を、10～11年継続で調査しています。徐々に生活習慣が定着している状況が見られていますので、今後も続けていきたいと思っています。また、禁煙については、健康増進課と連携しながら喫煙防止教室を行っています。小学校5年生と中学校1年生を対象としています。特に今年度は、小学校では担任の先生などにも関わっていただきながら、子どもたちがたばこを勧められたときの断り方など、ロールプレイを取り入れるなど、より主体的に取り組めるようにすすめています。

委員：生涯学習課です。はつらつ教養大学では健康医学について済生会病院と連携し、感染症や熱中症、食育、栄養学、尿検査の基礎知識、脳卒中予防など派遣を受け講座を行っています。健康体操では、正しい歩き方や、高齢者の方でも椅子に座ってできる簡単なストレッチなどを実施しています。健康推進員に協力していただき、平和授業の中で食育を行い、戦争当時のたべもの、例えば、すいとんや芋のつるのきんぴらなどを天然のだしを使って調理をしたものを、今の子どもたちに食べてもらう授業に取り組んでいます。

委員：スポーツ・文化振興課です。健康づくりは生涯スポーツからということで、ニュースポーツというものを生涯スポーツに位置付け、その推進を進めていく事業を展開しています。スポーツ推進協議会の協力を得ながら、実施しています。今年度では、7月23日に第8回ふれあいニュースポーツ大会を開催し、各学区地振協主催で「みんなのスポーツ教室」を実施しました。また、3つの大きな陸上の大会があり、「くりちゃんファミリーマラソン」は11月23日に実施予定で、実行委員会が準備を進めています。ウォーキングの推進では、「耐寒アベックマラソン」が1月21日に行われます。

栗東市には体育協会があり、連携協力しながら、健康測定会や「歩こう会」などの事業も進め、市民の皆さんの健康につながるような運動の推進に努めています。

委員：健康増進課は、各事業については例年通りを予定しています。それに加え今年度は広報りっとうの6月号に健康づくりに関する特集を掲載でき、健康推進員の活動や、あなたの健康ささえ隊協力事業所の紹介をさせていただきました。また、子育て世代、働き世代への健診受診の勧奨目的で、子宮がん検診の受診券、国民健康保険の節目歯科健診受診券発送時にプレ特定健診のお知らせを同封させていただきました。6月からスタートして、昨年度より受診している方が増えたかなと感じています。今後は、健康推進員さんに、昨年度作成したプロジェクトWの「野菜たっぷりレンピ」を自治会のおまつりなどで配布していただけたらと考えています。啓発ポスターも3種類完成しましたので、医療機関や、あなたの健康ささえ隊協力事業所に配付していく予定です。

委員：学校ごとに「ふだんの生活習慣アンケート」の結果をもとに取り組んだり、各学校の課題をもとに取り組んだりという形で活動しています。今年は市内全体の養護教諭部会で、学年ごとに定められている歯科保健マニュアルを見直して、取り組みに力を入れています。民間歯科衛生研究所の歯科衛生士に来ていただき、養護教諭部会で研修を行いました。2学期以降に、歯科指導を広げていきたいと思っています。また、民間歯科衛生研究所から小学生歯みがき大会という映像データをもらって、歯科指導を受けることができます。ほとんどの小学校が申し込みをして実施しています。

会長：各関係機関の取組を発表いただきましたが、ご質問などあればお願いします。なければまた、後ほどでもお願いします。

(3) 「生活と健康に関するアンケート」結果について

会長：質問等は協議事項(5)評価指標一覧の説明後に時間を設けたいと考えています。では、事務局より説明をお願いします。

<事務局説明>

- ・資料 『生活と健康に関するアンケート調査報告書』

(4) 市民の健康等の状況

<事務局説明>

- ・資料 『市民の健康等の状況』

(5) 評価指標一覧について

<事務局説明>

- ・資料 『評価』

会 長：アンケート結果、市民の健康等の状況、評価について事務局から説明がありました
が、ご質問、ご意見などあればお願いします。

会 長：アンケートの5ページの体重について、女性は年齢とともに増えていきますが、な
ぜ男性は30代を境に増えていくのか、全国のデータなどはありますか。

事 務 局：増え方はその通りだと思いますが、調べてみます。

会 長：女性の就業率ですが、どういう人が就業していると集計されるのですか。パートや
農家の女性はどうなるのですか。働いていますか、と聞かれて働いていますと答え
た人ですか。

事 務 局：国勢調査を基にしており各年齢で働いていると答えた人が集計されています。農家
の方も働いていると答えていけば、基本的に数えられます。

委 員：女性と男性で健康診査を受けていない方が20代、30代が多いのですが、この年代
ならば就業している方が多く、会社等で受けていると思うのですが、受けていない
人が多いなと思いました。また、就業率をみると20代から30代の女性は結構働い
ていると思うので、働いている割には受けていない人が多いと気になりました。

事 務 局：このアンケートでは、就労形態などを聞いていないためクロス集計ができず、回答
いただいた方の現状しかわかりません。

委 員：重点対象疾患の受診率について、例えば、脳内出血で倒れた人が滋賀県に比べて多
いということですか。

事 務 局：入院した割合が多いということです。

会 長：入院といっても、急性期と慢性期の区別はあるのでしょうか。慢性期病院が多くあ
れば集計の数が多くなり、入院してもすぐに退院して施設に移っていれば集計の数
が減る、ということですか。

事 務 局：その通りだと思います。医療機関やベッド数の数などによっても変わると思います。

(6) 市民の健康課題について

<事務局説明>

- ・資料 『資料6 栗東市の現状分析と健康課題』

会 長：ここに上がっていることに限らず、その他に市民の健康課題と思われることや、必
要な対策などあればお願いします。

委 員：子どもの平均虫歯数が、中学校1年生を除いて、県を上回ることにについてです。私
は、子どもに虫歯があった時は、その子の生活習慣を考えるようにしています。知
識よりも生活環境を聞くことで改善点を見つけ、保護者の方に説明するようになっ
ています。

委 員：両親が喫煙者であり、その子どもが喘息で病院に行き薬をもらって帰ることについ

て、感じる場合があります。まず直すべきは喫煙習慣ではないかと思えます。そのような子どもたちの中で、小学校に入ると急に来なくなる子がいます。継続治療で良くなったと思う一方で、ますますよくない方向へ進んでいるのではないかとも思えます。若い世代の保護者の喫煙対策に市を挙げて取り組んでほしいです。

委員：健康推進員としては、40～60歳代の肥満予防に対して、野菜の摂取が大事だと思います。私自身も家で作るときに注意しています。また、スーパー等で野菜摂取の啓発活動をしますが、なかなか立ち止まって聞いてくれる人は少ないです。もっと力を入れていかなければと思っています。

委員：2歳になる孫に対して、初めに虫歯の菌を入れないように食事を分けるなどしています。今のところ、虫歯になっていないのですがどうなのでしょう。

委員：子どもはいろいろなものをなめるので、あまり意味はないかもしれませんが。悪いわけではないですが、労力を考えるとそんなに気にしなくても大丈夫だと思います。

委員：そうなんです。ちょっとでも遅らせようとしたんですが。健診で塗っているフッ素はむし歯を予防してくれるんですよ。

事務局：1歳半健診では歯にフッ素を塗っています。

委員：フッ素はコーティングではないので、1回だけでは意味がありません。フッ素入りの歯磨き粉など低濃度の何回も使うときちんと効果があります。

委員：学校では歯科保健指導に力を入れて取り組みを進めています。ただ、やっているのに虫歯が減っていなければ、見直しが必要になると思います。学校での歯科指導や歯科医への定期健診を勧めるなど、もう一度確認し、丁寧に取り組んでいこうと思います。また、健康増進課と進めている喫煙防止教室を去年と今年で行っています。小学校5年生と中学校1年生の2回行うことで、年齢とともに理解度も上がり、吸わないでおこうという感想がたくさんあり、ぜひ継続していきたいと思っています。よろしくをお願いします。

委員：給食後の歯みがきなどは進めているのですが、磨いていることと磨けていることは違うと感じ、しっかりとした指導が必要だと思いました。また、食育についても、朝食は食べているけれども、食べているものはお菓子であるなど、家庭への啓発が大事だと思いました。がん教育については、文部科学省も次の学習指導要領では、保健の学習でがん教育を入れています。平成29年度から全面実施ということで、それぞれの学校でも進めていただいていると思いますが、地域の状況などを踏まえたうえで、栗東市のがん教育を進めていけたらと思っています。

委員：生涯学習の対象は主に高齢の方です。特に、参加していただく方は健康な方が多く、はつらつ教養大学の医師による授業や体操を通して、健康になっていただくといいと思います。今後も健康を維持していきながら過ごしてもらえよう、工夫していきたいと思っています。

- 委員：地域の啓発等、協力させていただける部分があれば、ぜひご連絡ください。
- 委員：行政の事業は、関心のある方の参加が多く、関心のある方はご自分で自発的に取り組んでいる方が多いです。また、生涯スポーツが健康づくりには重要視されます。例えばニュースポーツは簡単にできる競技なので、地域に普及させ、なかなか外に出てこなかった方も参加してもらえる、手助けや仕組みを作っていかなければならないと思っています。
- 委員：健康相談を実施している中で、利用された市民は、「生活習慣病が自覚症状のないことを知らなかった」「自覚症状がでてから受診したらいいと思っていた」「脂肪がインスリンの利きを悪くしていることを知らなかった（太っていることが血液データを悪くすることを知らなかった）」など声があり、まだまだ生活習慣病のことや、メタボリックシンドロームのことが知られていないと感じています。
- 会長：みなさんご意見ありがとうございました。これで本日の協議を終わります。事務局
お願いします。

4 その他

- (1) 次回会議に向けて
- (2) 次回会議の日程について

(以 上)